

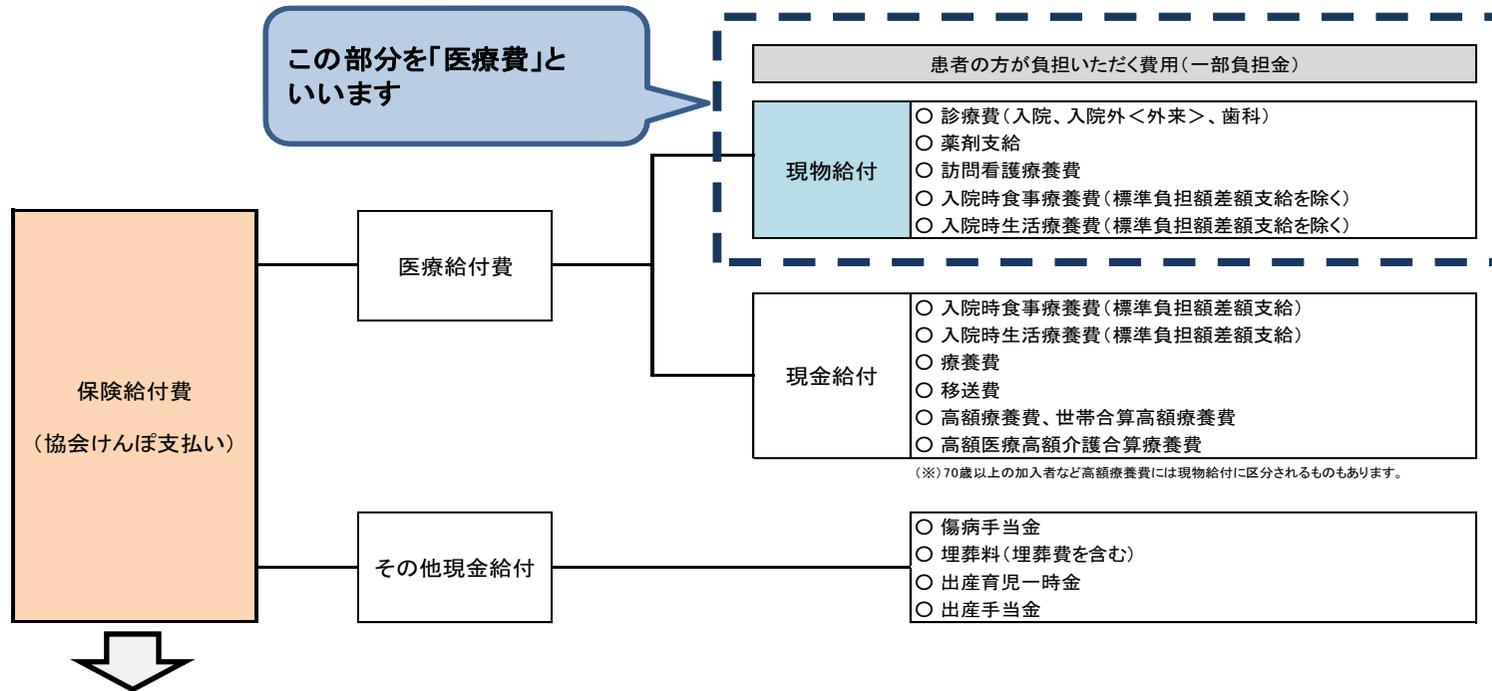
平成24年度 岐阜支部の医療費について

目次

1. 保険給付費	1
2. 1人あたり医療費①(全年齢)	2
3. 1人あたり医療費②(年齢階級別)	3
4. 傷病別医療費	6

1. 保険給付費

○協会けんぽが支払う保険給付費の内訳は次のとおりです。 保険給付費は年々増加しております。

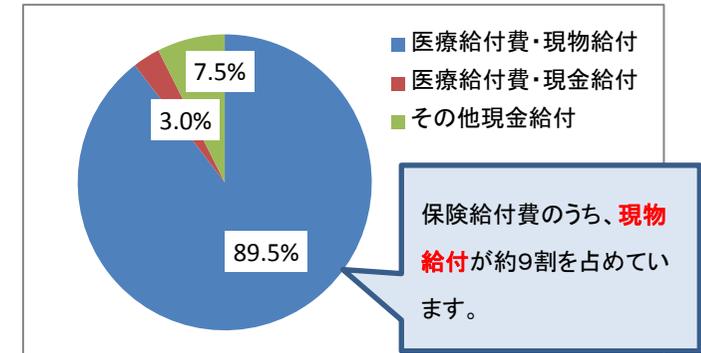


◎保険給付費

(単位:千円)

年度	岐阜支部		全国	
		前年比		前年比
平成21年度	87,228,240	-	4,420,356,653	-
平成22年度	91,069,015	104.4%	4,584,653,243	103.7%
平成23年度	92,317,161	101.4%	4,674,531,064	102.0%
平成24年度	93,496,615	101.3%	4,748,689,947	101.6%

◎保険給付費の割合【平成24年度・岐阜支部】



2. 1人あたり医療費①（全年齢）

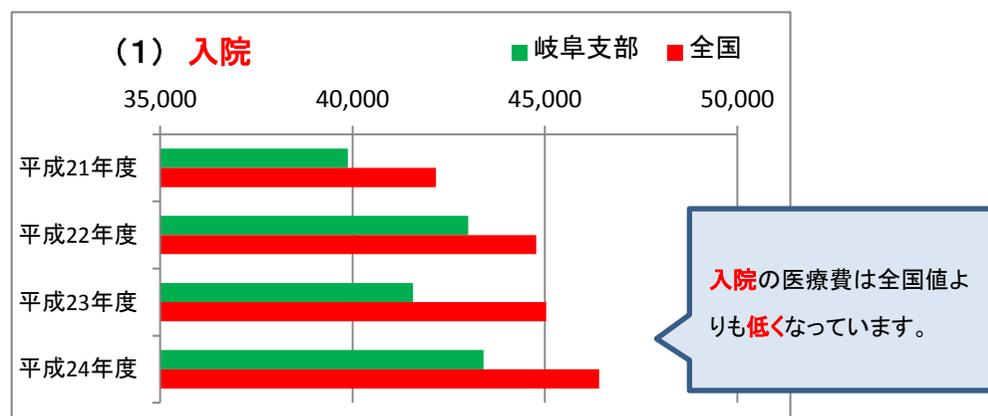
○入院は低く、入院外（調剤含む）は高い、という傾向が続いています。

★ 1人あたり医療費 = 医療費（現物給付＋患者負担分） ÷ 加入者数（被保険者数＋被扶養者数）

(1) 1人あたり医療費 <入院>（全年齢）

（単位：円）

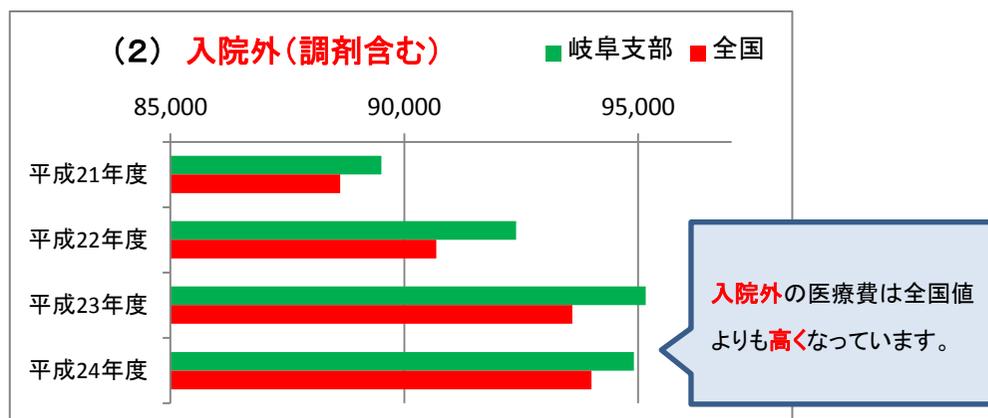
年度	岐阜支部			全国	
	前年比	全国順位	前年比	前年比	
平成21年度	39,877	—	35	42,167	—
平成22年度	43,007	107.8%	33	44,775	106.2%
平成23年度	41,575	96.7%	38	45,031	100.6%
平成24年度	43,407	104.4%	36	46,407	103.1%



(2) 1人あたり医療費 <入院外(調剤含む)>（全年齢）

（単位：円）

年度	岐阜支部			全国	
	前年比	全国順位	前年比	前年比	
平成21年度	89,509	—	19	88,629	—
平成22年度	92,391	103.2%	13	90,686	102.3%
平成23年度	95,164	103.0%	15	93,594	103.2%
平成24年度	94,913	99.7%	20	94,001	100.4%



3. 1人あたり医療費②（年齢階級別）

○「年齢階級別（10歳刻み）」にみていくと、「全国でもっとも医療費が高い」階級があります。

(1) 1人あたり医療費 <入院>（年齢階級別）

年齢階級	平成24年度					平成23年度				
	岐阜支部			全国		岐阜支部			全国	
		前年比	全国順位		前年比		前年比	全国順位		前年比
0～9歳	48,525	107.2%	35	51,297	101.6%	45,263	103.0%	37	50,471	101.8%
10～19歳	14,973	104.8%	47	17,738	104.9%	14,287	85.8%	46	16,915	104.8%
20～29歳	19,383	111.5%	39	21,147	103.6%	17,384	93.2%	44	20,416	99.7%
30～39歳	27,894	104.8%	26 ▲	27,526	105.6%	26,618	91.8%	27 ▲	26,077	101.4%
40～49歳	31,355	108.9%	34	32,629	103.3%	28,800	96.1%	39	31,572	99.6%
50～59歳	55,687	104.8%	38	61,345	102.7%	53,137	94.9%	40	59,750	99.1%
60～69歳	100,863	98.5%	37	110,529	102.0%	102,425	98.7%	31	108,332	100.2%
70歳～	215,093	104.1%	25 ▲	208,004	101.0%	206,558	99.4%	27 ▲	205,973	99.4%

▲印：岐阜支部が全国値を上回っている年齢階級。

データ：協会統計システムより算定ベースで集計

○平成24年度の「入院」は、60～69歳を除く年齢階級で前年実績を上回りました。とくに、0～9歳、20～29歳、30～39歳の伸びが顕著でした。

○10～19歳の全国順位は47位であり、岐阜支部がもっとも低くなっています。

(2) 1人あたり医療費 <入院外(調剤含む)> (年齢階級別)

年齢階級	平成24年度					平成23年度				
	岐阜支部			全国		岐阜支部			全国	
		前年比	全国順位		前年比		前年比	全国順位		前年比
0～9歳	116,129	98.8%	10 ▲	107,697	98.6%	117,521	101.3%	9 ▲	109,235	102.9%
10～19歳	56,545	100.4%	1 ▲	47,884	101.0%	56,337	108.1%	1 ▲	47,396	106.8%
20～29歳	42,926	100.5%	35	44,399	102.1%	42,695	103.7%	34	43,473	102.0%
30～39歳	58,349	100.5%	25	58,654	101.8%	58,060	103.6%	19 ▲	57,610	103.4%
40～49歳	76,141	99.9%	38	79,496	100.5%	76,184	102.3%	35	79,117	102.9%
50～59歳	124,623	100.2%	32	126,764	100.4%	124,344	103.1%	30	126,228	102.8%
60～69歳	194,002	99.2%	27	194,167	99.5%	195,576	101.6%	28 ▲	195,146	102.6%
70歳～	318,795	96.6%	19 ▲	314,604	98.5%	330,131	102.4%	11 ▲	319,344	102.1%



▲印: 岐阜支部が全国平均を上回っている年齢階級。

データ: 協会統計システムより算定ベースで集計

○「入院外」では、**10～19歳の全国順位が1位(=医療費がもっとも高い)となりました。** 岐阜支部の1位は3年連続になります。

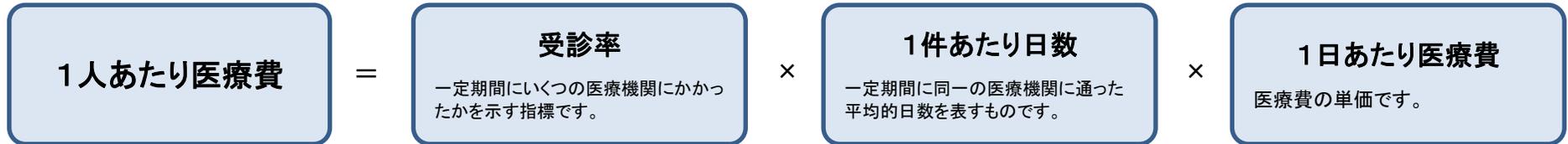
他方、10～19歳の「入院」では、全国順位が47位(=医療費がもっとも低い)となります。(▶前ページ参照)

○また、10～19歳のひとつ上の階級である20～29歳になると、医療費は一気に下がり、全国順位は35位となります。

○同様の傾向を示す県に愛知支部(10～19歳は2位、20～29歳は33位)、群馬支部(10～19歳は4位、20～29歳は28位)があります。これらの県に共通する特徴として、市町村における医療費助成制度が「中学校卒業まで補助」、「現物給付」が主流、という点が挙げられます。

○60歳以降(60～69歳、70歳以上)は、それぞれ約20万円、約32万円と高い水準にはありますが、一方で、前年実績をやや下回り、年々医療費が増大し続けるという状況は一旦ストップしました。

○全国順位1位の10～19歳(入院外)の1人あたり医療費について、増加要因の見当をつけるため、「受診率」・「1件あたり日数」・「1日あたり医療費」の積に分解します。



各項目とも端数処理をした値を記載しております。

地域	10～19歳 入院外(調剤含む)	受診率	1件あたり日数	1日あたり医療費
岐阜支部	56,545円 (全国順位 1位)	4.855件 (全国順位 2位)	1.423日 (全国順位 5位)	8,185円 (全国順位 22位)
全国	47,884円	4.223件	1.382日	8,204円

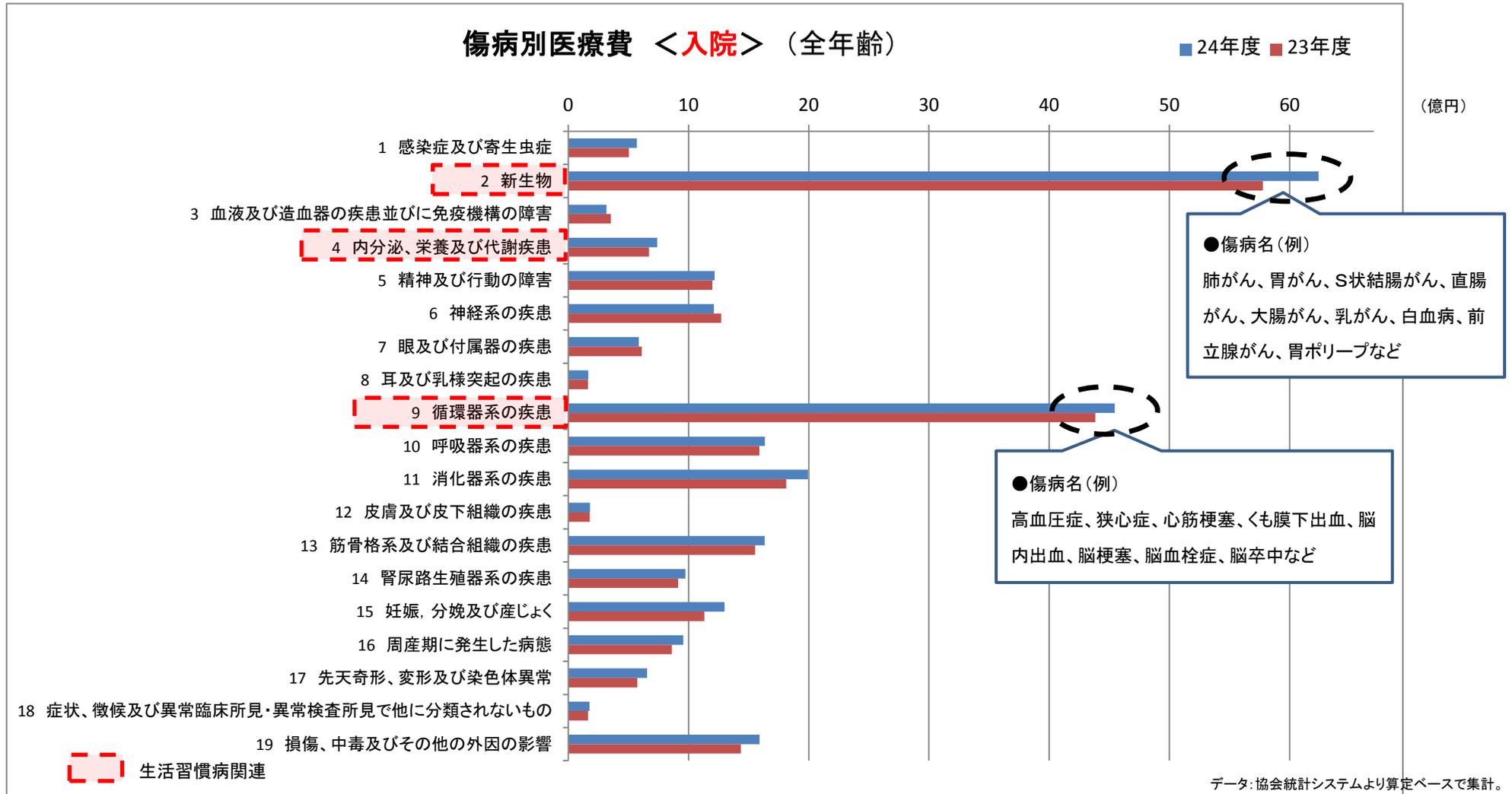
○「受診率」、「1件あたり日数」は全国値より高く、「1日あたり医療費」は全国値よりやや低くなっています。

○とくに「受診率」が高く、医療機関に雇う人の割合が高いことが表れています。これが「1人あたり医療費」が高くなっている主な要因と考えられます。

(「受診率」の1位は群馬支部ですが、同支部は「1日あたり医療費」が7,559円(45位)に抑えられているため、「1人あたり医療費」では岐阜支部を下まわります。)

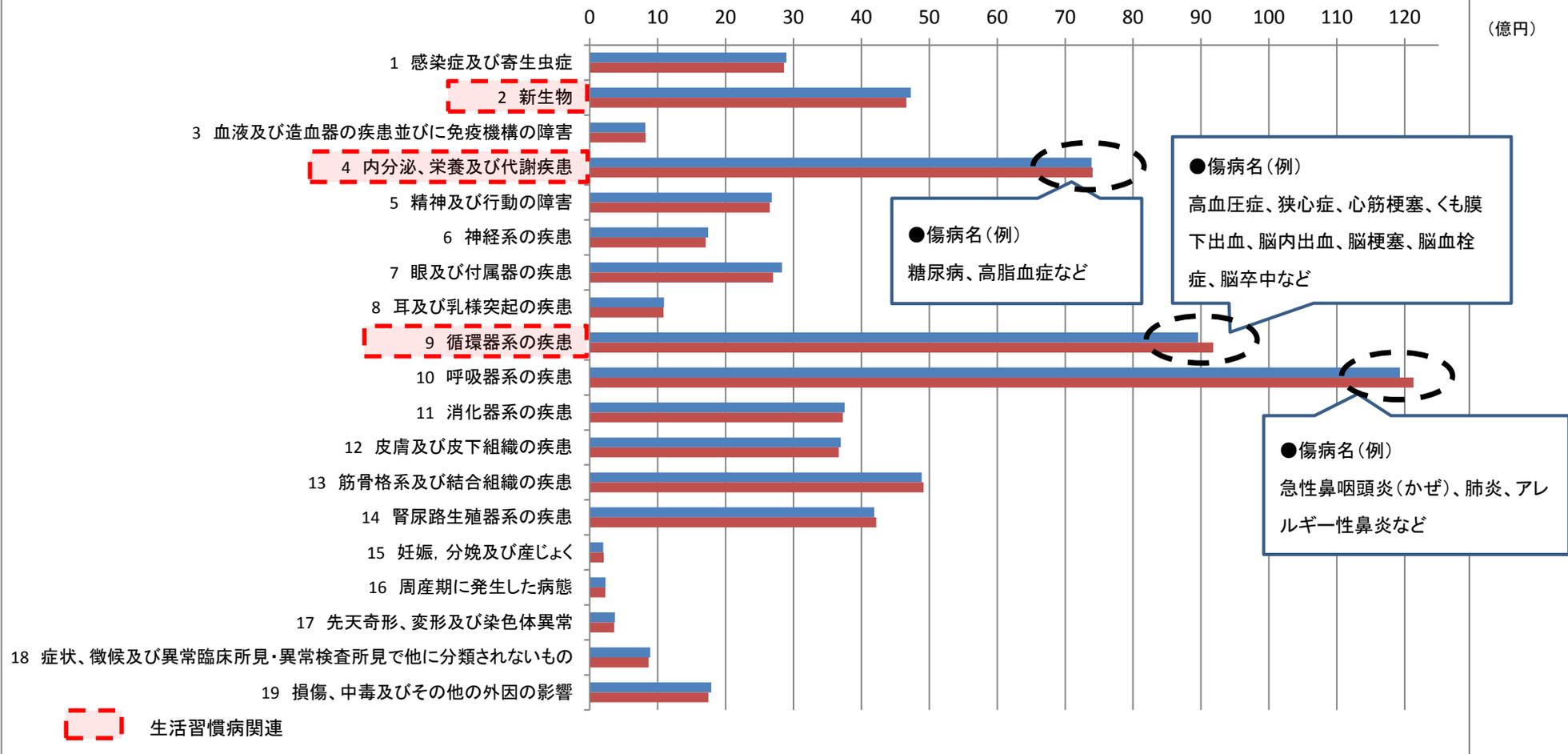
4. 傷病別医療費

○入院では「新生物」・「循環器系の疾患」、入院外では「内分泌、栄養及び代謝疾患」・「循環器系の疾患」・「呼吸器系の疾患」が高くなっています。



傷病別医療費<入院外(調剤含む)> (全年齢)

■ 24年度 ■ 23年度



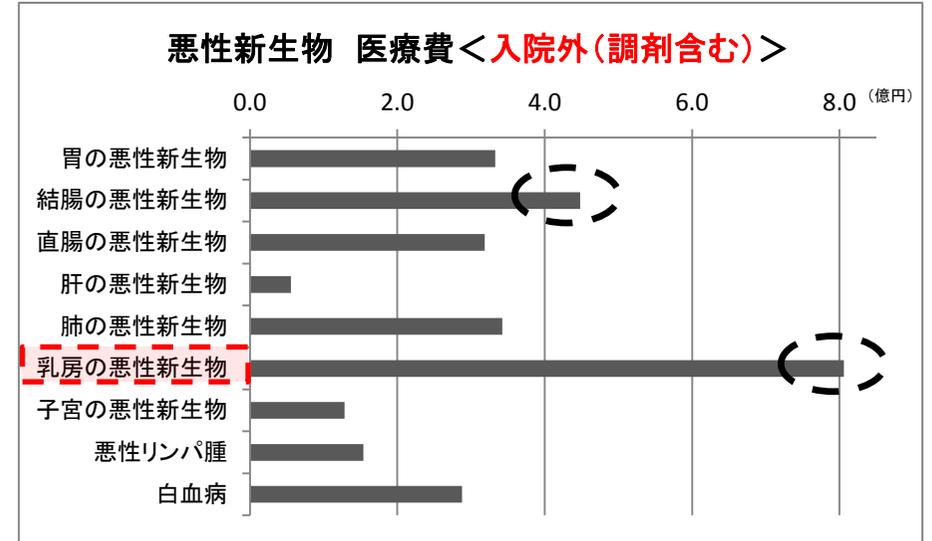
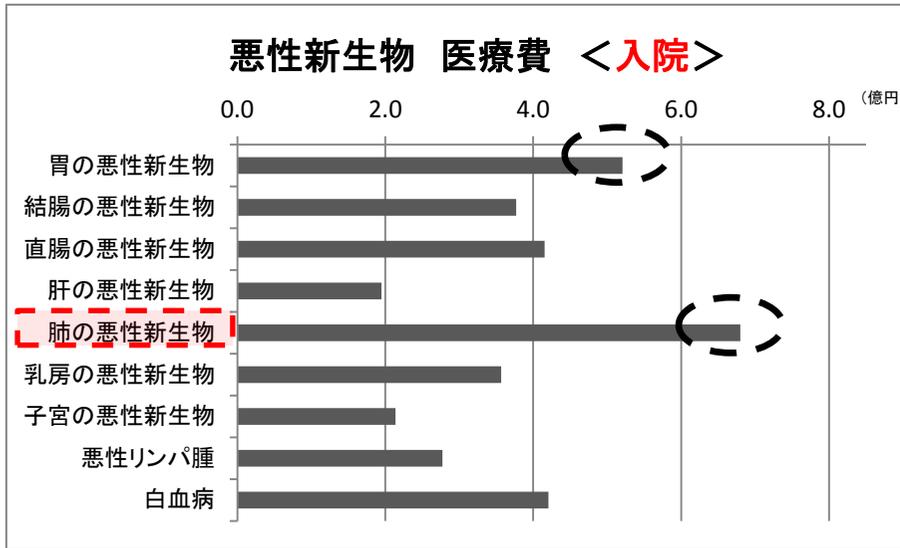
データ:協会統計システムより算定ベースで集計。
(傷病名が不明のものを除く。)

○入院、入院外とも、上位には、生活習慣が発症や重症化の原因となる傷病が入っております。

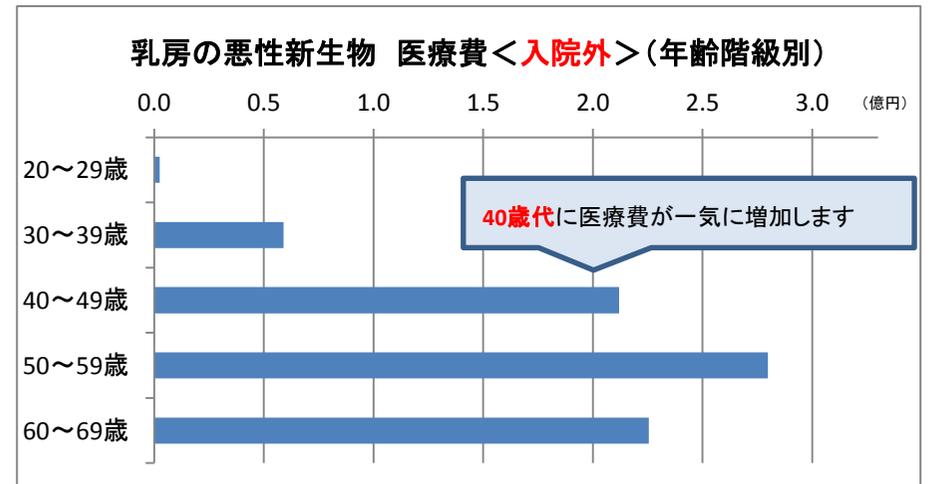
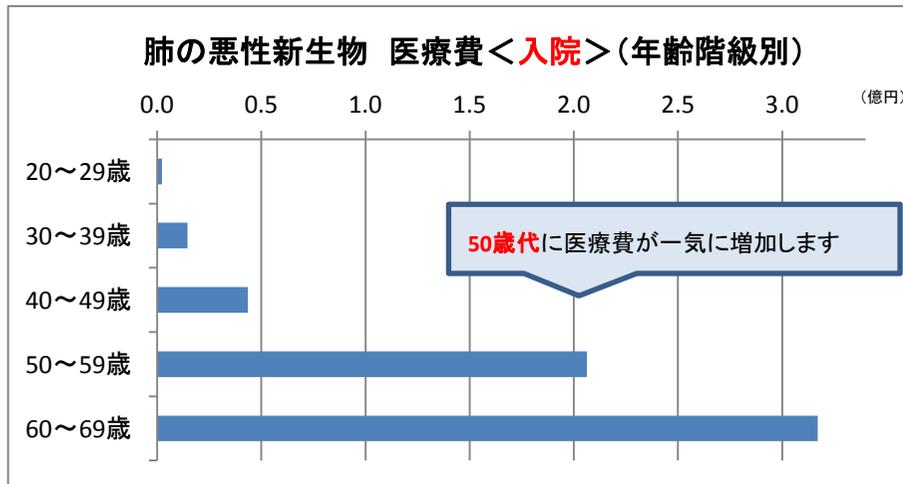
○全国値も、入院では「新生物」・「循環器系の疾患」、入院外では「内分泌、栄養及び代謝疾患」・「循環器系の疾患」・「呼吸器系の疾患」が高くなっており、岐阜支部は全国と同様の傾向を示しています。

○生活習慣が発症や重症化の原因となるいわゆる「生活習慣病」の中で、医療費の高い疾病と年齢階級別に医療費を確認します。

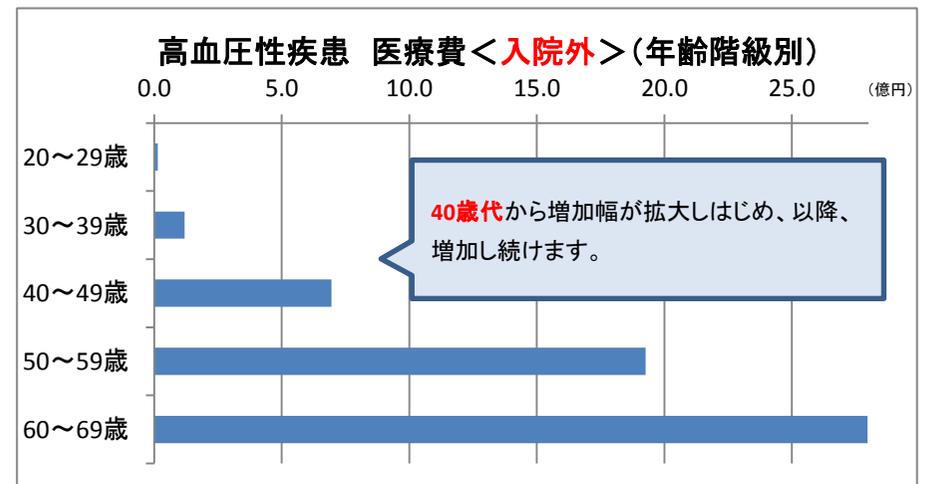
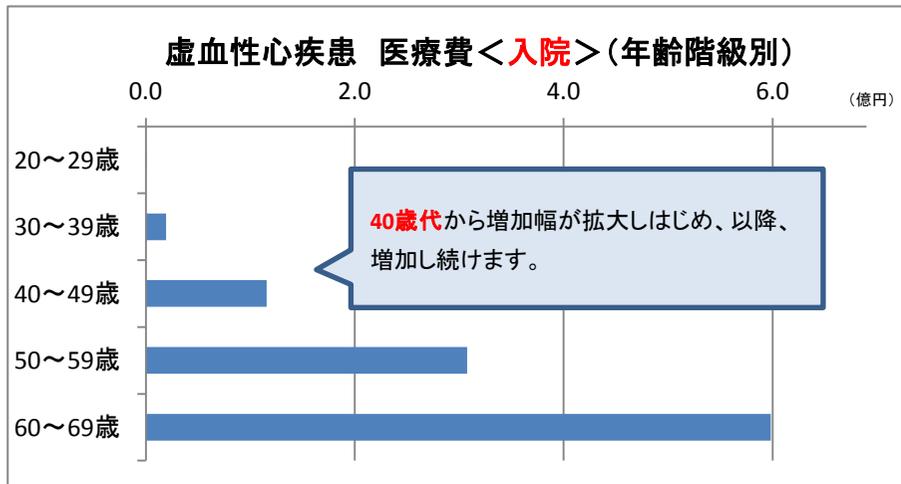
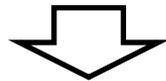
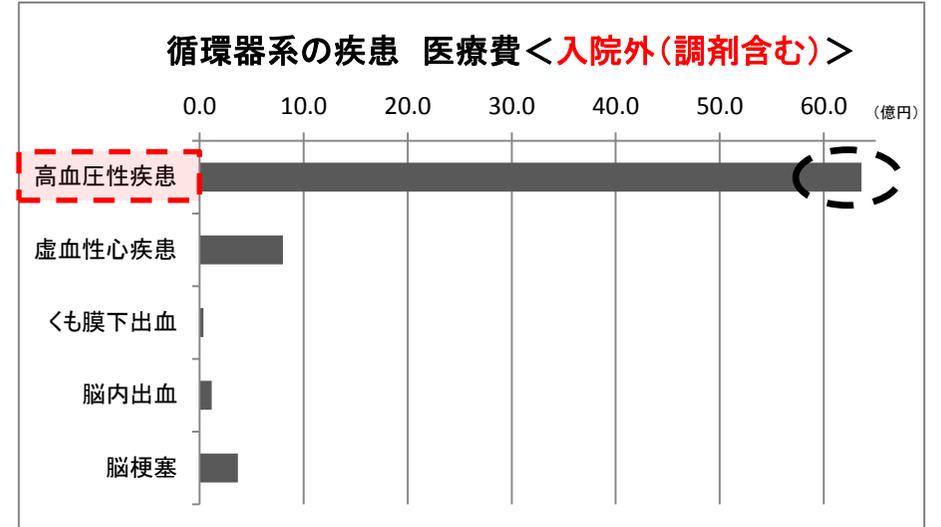
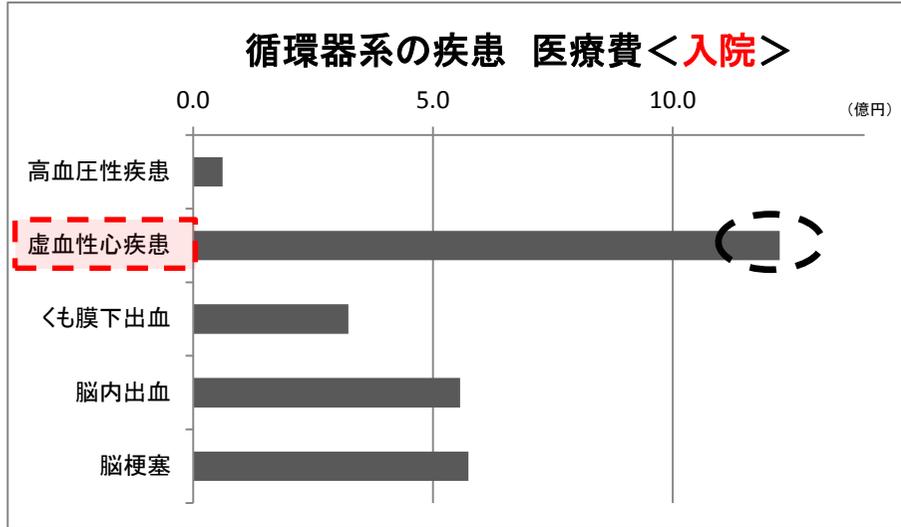
新生物（悪性新生物）



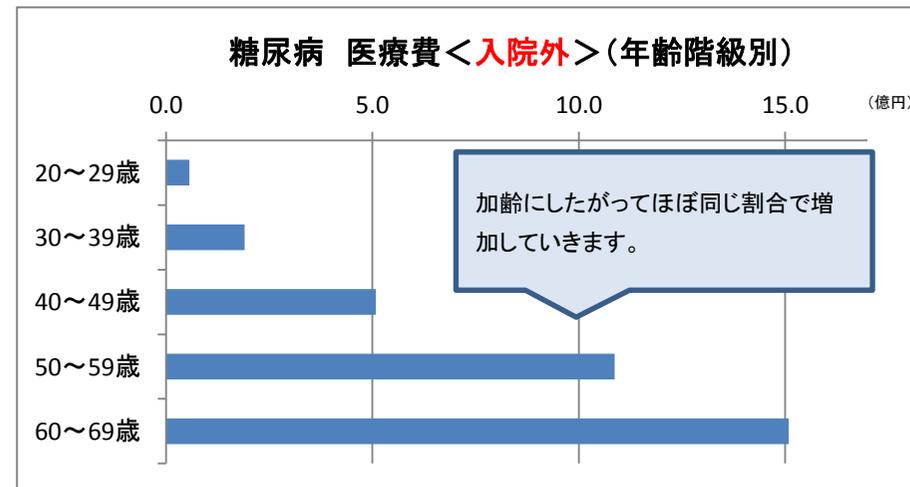
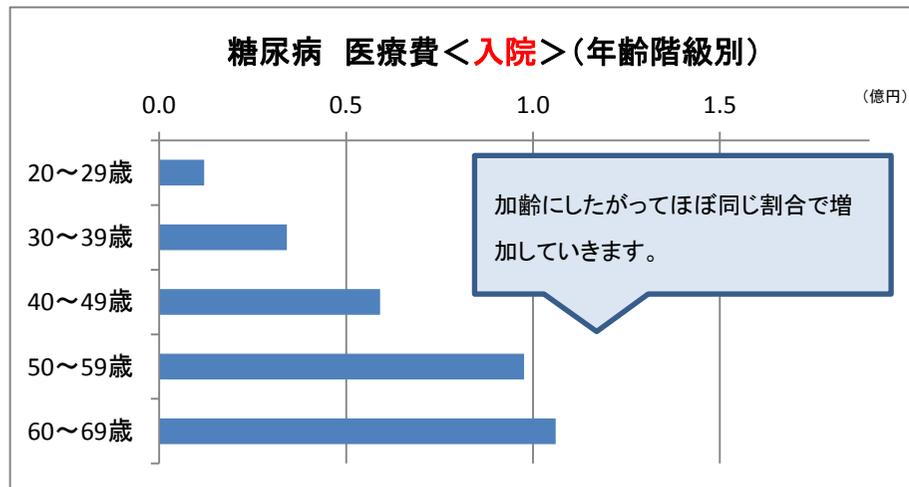
医療費が一気に増加する年齢階級があります



循環器系の疾患



内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病）



データ: 協会統計システムより算定ベースで集計

【新生物（悪性新生物）】

- 疾病別にみると、入院は「肺の悪性新生物」、入院外は「乳房の悪性新生物」の医療費が高くなっています。
- これらの疾病は、ある年齢階級になると、一気に医療費が上がるのが特徴です。
- 保険者ができる予防対策としては、医療費が上がる前の年齢層を含めて、「がん検診」の受診を促すことなどが考えられます。

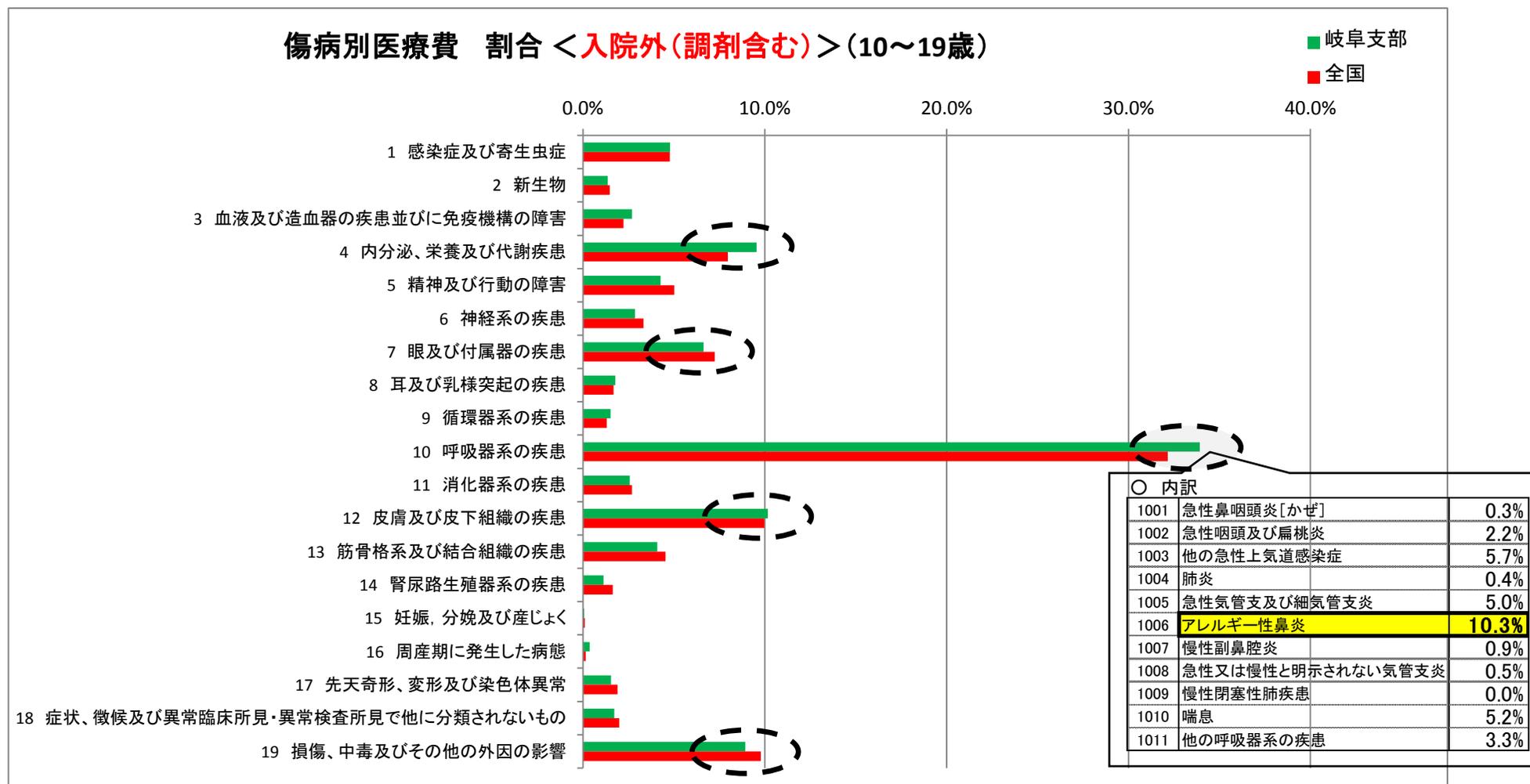
【循環器系の疾患】

- 疾病別にみると、入院は「虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）」、入院外は「高血圧性疾患」の医療費が高くなっています。
- これらの疾病は、40歳代から増加幅が拡大しはじめます。
- 多くは生活習慣が原因であるため、保険者ができる予防対策としては、保健指導を通じて生活習慣の改善を促すことなどが考えられます。

【内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病）】

- 循環器系の疾患と同様に、多くは生活習慣が原因であるため、予防対策としては、保健指導を通じて生活習慣の改善を促すことなどが考えられます。

○全国順位1位の10～19歳(入院外)の医療費について、傷病別の割合をみると、全国値とほぼ同様の傾向を示しています。



データ: 協会統計システムより算定ベースで集計。
(傷病名が不明のものを除く。)

○この年代では「呼吸器系の疾患」が高く、その内訳を確認すると「アレルギー性鼻炎」の割合が高くなっています。